



QFN通信

Qshu Forest Network News

NPO法人 九州森林ネットワーク

巻頭文 理事長 佐藤宣子

暑中お見舞い申し上げます。

ネットワークの情報誌QFN通信第6号をお届けします。

本号では、2月に日向市で開催した第7回九州森林フォーラム（第3回森林・木材認証フォーラムに共催）の報告を掲載しています。国際的な木材需給の逼迫化を背景にして、川下で国産材の積極活用の動きが始まっています。それが山側にどのような影響をもたらしつつあるのか、新生産システムという政策、また森づくりと家づくりを結ぶ流通システムの可能性などについて大いに議論できました。是非、ご一読下さい。

更に、本号では10月に定期総会といっしょに開催する第8回九州森林フォーラムin球磨の案内も行っています。球磨村は日本三大急流、球磨川の中流域にあります。先日、打ち合わせに行った際、川を見下ろせる見晴台に案内して頂きました。森に抱かれて球磨川が村内で大きく蛇行し、海まで繋がっている雄大なパノラマに感動しました。次回フォーラムでは、「川、そして海につながる森林づくり」をテーマに流域環境に配慮した森林施業のあり方について学び、議論したいと思えます。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

話は変わりますが、緑資源機構による官製談合など林野行政を巡る一連の不祥事（天下りの実態などはある程度知っていましたが）は、森林や林業界全体の透明性を高めることの必要性を突きつけました。当NPOでは、現場に即しながら外に向かって説明できる、理解し合えるネットワークの形成に努めたいと思った次第です。



ネットワークキャラクター
「やまと熱人(ネット)」

第6号 since2005.6.1

発行日 2007. 7. 1

<発行>
NPO九州森林ネットワーク
本部：熊本県小国町
<編集責任>
宮崎・諸塚オフィス
<担当オフィス>



目次

第7回九州森林フォーラムの報告	2～3
サテライトNEWS	4
ネットワークオフィス 会員紹介	5
第8回九州森林フォーラム のお知らせ	6

第7回九州森林フォーラムの報告 平成19年2月9日～10日

「国産材のリアリズム」～山からの叫び・木の家と認証の森をつなげる

場所：宮崎県日向市 ※第3回 森林・木材認証フォーラム（宮崎県諸塚村主催）と共催

第 1 部 2月9日（金）プログラム

★再造林放棄地現地見学（2ヶ所）

日向市の水源である耳川の上流の美郷町で、10年前に全伐され再造林放棄された山林を見学しました。63haの大規模な山林で、作業効率を優先させたため、無秩序な作業道が縦横に掘られ、伐採後に表土が不安定になり、直後に直下の国道や河川に土砂が流出するなど大規模な災害が起きました。その後、最近になって公的な支援により一部に再造林が図られていますが、10年経過した今でも、災害跡が生々しく、特に作業道沿いの植生回復は遅れています。



★事例報告① 素材生産活発化と再造林放棄急増の実態 藤掛一郎宮崎大学助教授

全国有数の素材生産地である宮崎県で、造林未済地（再造林放棄地）が年間千数百haと広大になっていること、大量の民有林が伐採に適した時期にきているなかで、作業の機械化で未熟練若年労働者が増え、低コストに耐えうる素材生産が普及しています。一方で、過剰な材価の下落で、冒頭に述べた再造林放棄地はもとより、主伐さえできずに放棄林となって荒れた山林も増えていることも指摘されました。今後、この状況が続けば、森林の公益機能が低下すること、木材資源の急速な減少が危惧され、適正な森林管理への監視機能、長期的な視野を持った森林資源の育成が必要とのことでした。



★事例報告② FSC森林認証の現状 佐々木聡子氏（SGS Japan(株)）

森林認証制度の生まれた背景や概要、そして現状が解りやすく解説されました。また、FSC森林認証の特徴やポイントが解説され、これからの方向性なども提示されました。日本でも徐々に認証林が増えているようです。

第 2 部 2月10日（土）

★基調講演①「日本の林業を"出口"の側から考える」 小池一三氏（(有)小池創作所）

戦後のハウスメーカー躍進よりも、地場の建築を支えた工務店の重要性を示し、輸入木材の問題よりも、安易に外材に走った工務店側の問題、そして工務店の使いやすい木材を供給できない日本の山の問題点を指摘されました。これから外材輸入量の減少という外的変化を、むしろチャンス到来と考えるべきという認識を示されました。

氏の豊富な経験と見識をもとに、日本の工務店の今後の取り組みの重要性を示され、これからはハウスメーカーの需要も視野に入れた大規模流通と「近山運動」を中心とした小規模工務店の両方が大事という提言をいただきました。

★基調講演②「新生産システムの目指すもの」 塚 正紘氏(九州大学名誉教授)

世界的な視点で捉えた日本の森林の現状と国産材需要の実情を踏まえ、定時・定量・定質・定価格を求める大規模住宅メーカーの需要に耐え得る生産体制の必要性を指摘されました。それをつくる「新生産システム事業」の課題として、外材と対抗できるコストダウンが不可欠で、大規模工場の整備と山元選別によるジャストイン体制構築などが提案されました。また、今後九州では主伐が拡大するであろうという認識の上で、天然更新可能な皆伐方法や再造林技術、間伐技術の検討、さらには森林施業コスト削減につながるような補助金制度の提案もありました。

★パネルディスカッション「木の家づくりと森づくりを維持する流通システムの可能性」

パネリスト 山田壽夫氏(林野庁九州森林管理局長) 松下修氏(松下生活研究所)

佐藤宣子氏(九州大学助教授) 甲斐若佐氏(耳川広域森林組合参事)

小池一三氏(旬小池創作所) 佐々木聡子氏(S G S Japan)

コーディネーター 矢房孝広 (諸塚村産直住宅推進室)

＜議論の骨子＞九州の再造林放棄地の実態の報告で九州の森林の現場の厳しさが浮き彫りにされました。近年の台風災害の甚大さもあり、崩壊した山の近くに住むものの不安はもちろん、都市市民の森林の崩壊への負の反応は大きいところです。戦中戦後の原生林の大量伐採、戦後の単一種の拡大造林も含めて、行政の指導で山が踊って生み出したものです。山だけでなく、行政も含めて社会への責任ある対策が求められています。土砂災害、生命の危険、保水力、CO2、木材資源枯渇など、山が荒れると困る問題をきちんと整理して、しっかりと主張をすべきです。違法伐採は国内でも起こっており、単に国産材を使うというだけでは山は救えません。第3者のチェックを基にする認証制度の重要性は深まっています。補助金に頼るだけでなく、認証制度のボランティアな(自発的な)試みこそ、持続可能な林業につながります。

山も経営が厳しい中で、再造林放棄と並んで、除間伐の遅れた放置林の急増なども大きな課題です。山村でも他の産業で生計を立てる者が増え、林業が必然ではなくなりつつありますが、山は集落がないとすぐに荒れてしまう。山への関心が薄れつつある中で、将来を見越した体系的な施業や、新しい森づくりへのビジョンをつくるべき時期にきています。持続可能な山づくりをするための提案型の活動を進めていきたい。

木材流通の現場は、いまだに古い感覚に支配され、余計なコストと思惑相場がまかり通っています。しかし、森林認証を取得することで流通現場の風通しが良くなり、森と家づくりとが認証の輪で繋がりました。製品に対する評価が生産者と消費者をつなげ、単なる流通を超える信頼の連鎖を起こしています。これは、認証システムを活用する顔の見える家づくりが充分通用することを示唆しています。

議論の中から二つの提案がありました。

①新生産システムと認証システムの連携～新生産システムで扱う木材に関して、森林認証材であること＝山を守っている木材であることを条件化する。第3者が森林管理の適正さを担保する森林認証システムを活用することで、環境産業である林業として、社会性の維持のためには譲れない線を持つべきであるというものです。

②認証取得費用を水源税などで補助する～今の水源税制度は、荒れた山を税金で手入れしようという取り組みがほとんどです。放置された個人資産に公的資金を投入するのは、国民的コンセンサスが取りにくい。むしろ第3者がチェックする認証制度で、健全な森林が増え、水源の森が生きてくることになります。林業や地場工務店は、比較的零細なところが多いですが、認証取得の負担を軽減すれば山をちゃんと守っていることをユーザーに担保するための社会性の高いシステムが、もっと広がることになるでしょう。



サテライトNews イベント紹介

「小国の森の木になるまつり」

日時：平成19年9月15日（土）10：00～16：00

場所：肥後木材(株) 熊本県熊本市平山町2986-11

TEL 096-389-0022 FAX 096-389-8911

内容：●お楽しみ抽選会 ●小国物産コーナー

●木工教室

●フリーマーケット開催

●樹木当てクイズ

●住宅相談・展示コーナー

●モデルルーム公開中

●バンド演奏 ①10：00～

②13：00～

●「森林認証住宅セミナー」～自然な家は住みやすい～

第1回11：00～ 第2回14：00～

講師：松下生活研究所 代表 松下修 氏

ご来場プレゼント！ 先着500名様にマイ箸を差し上げます。

問合せ先：小国町森林組合 Tel.0967-46-2411



グリーンツーリズムセミナー in球磨村

～交流の拠点、石倉でグリーン・ツーリズムについて考えます～

グリーン・ツーリズムをもっと多くの方に理解してもらうために、グリーン・ツーリズム研究の第一人者である東洋大学の青木辰司教授を講師に、昨年度新たに水上村と球磨村で整備された石倉において、「グリーン・ツーリズム石倉Wセミナー」を開催します。

石倉とは・・・米を貯蔵するための倉として利用されてきました。

人吉球磨地域には160ほどの石倉が残っており、大きな石倉は交流拠点として各地域で整備されています。

■ 日時、会場

○ グリーン・ツーリズム石倉セミナーin球磨村

日時 平成19年7月24日（火） 18：00～

場所 石の交流館やまなみ（球磨村一勝地）

■ セミナー内容

基調講演 「ツーリズムが目指すもの」 講師：青木辰司 東洋大学教授

※セミナー終了後、地元の食のもてなしによる交流会も実施します。

■ 参加費

・セミナー：無料、交流会：3,000円

■ その他

・どなたでも自由に参加できます。但し、7月17日までに必ず事前にお申し込み下さい。（会場の都合により、定員に達し次第締め切らせていただきます）

・チラシ、申込書など詳しいことは、人吉球磨グリーン・ツーリズムホームページをご覧ください。

<http://www.hitoyoshikuma-gt.org>

九州森林ネットワークオフィス一覧

- <本部>熊本・小国町：小国町森林組合内 Tel0967-46-2411 FAX 0967-46-5474
〒869-2501 熊本県阿蘇郡小国町宮原1802 oguni@galaxy.ocn.ne.jp
- <サテライトオフィス>
- 福岡：九州大学大学院農学研究院内 Tel092-642-2876 AX 092-642-2877
〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1 sato@ffp.kyusyu-u.ac.jp
- 大分・上津江：(株)トライ・ウッド内 Tel0973-55-2657 FAX0973-55-2323
〒877-0311 大分県日田市上津江町大字川原2810-1 info@try-wood.com
- 宮崎・諸塚村：諸塚村産直住宅推進室事務局内 Tel0982-65-1116 FAX 0982-65-0032
〒883-1301 宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代2683 t.yabusa@morotsuka.jp
- 福岡・久留米市：西村工務店内 Tel0943-72-2256 FAX 0943-72-3996
〒839-1234 福岡県久留米市田主丸町豊城585 info@morino-ie.com
- 鹿児島・建築工房自然木内 Tel099-812-5701 FAX 099-812-5701
〒892-0023 鹿児島市永吉町2-29-3 jinenmoku@nifty.com
- 沖縄：(株)幸和内 Tel098-936-9231 FAX 098-936-2667
〒904-0102 沖縄県中頭郡北谷町字伊平417-1 odo@tokukei.com
- 福岡：川崎建築構造設計事務所内 Tel092-574-8544 FAX 092-574-8545
〒811-1303 福岡市南区折立町3-7-206 kawa2892@joho-fukuoka.or.jp
- 北九州：(有)ウッデイ工房内 Tel093-692-5430 FAX 093-692-1975
〒807-0875 北九州市八幡西区浅川台1丁目5番 k-shimasaki@woody-koubou.com
- 大分：ミウラクワノパートナーシップ(有)内 Tel097-504-3087 FAX 097-504-3088
〒870-0901大分市西新町1-3-5サンビル1階 RXA04312@nifty.ne.jp
- 北九州：(株)安成工務店内北九州支店内 Tel093-475-2323 FAX 093-475-2335
〒800-0226 北九州市小倉南区田原新町2丁目4番1号 kitakyusyu@yasunari.co.jp
- 熊本・八代市：球磨川ライン木の家ネット Tel0965-35-8430 FAX 0965-35-8431
〒866-0081 八代市植柳上町683-5 (株) 井本工務店内 imotokmt@vesta.ocn.ne.jp
- 佐賀：内川工務店内 Tel0952-23-9204
〒840-0863 佐賀市嘉瀬町大字十五430-7 hazama-9204@hi.enjoy.ne.jp
- 長崎：長崎総合科学大大学院 Tel095-839-3111 FAX 095-830-1281
〒856-0048長崎市網場町536長崎総合科学大学大学院工学部建築学科
- 熊本・球磨村：多武義治 Tel0966-34-0520
〒869-6204 熊本県球磨郡球磨村神瀬甲1185-9
- 宮崎・都城市：蔵留製材所内 Tel0986-62-1038 FAX 0982-62-0098
〒889-0447 宮崎県都城市高崎町大字大牟田1970
- 福岡・うきは市：浮羽森林組合内 Tel0943-77-2158 FAX 0943-77-6017
〒889-1401 福岡県うきは市浮羽町朝田381-5



新理事自己紹介

内川 間（佐賀市 内川工務店）

1972年佐賀県生まれ。地元の高校を卒業後、父の元で大工の技術を修行しました。

家は祖父の代から大工で、現在は父と弟の3人でしています。

家建てる方と山まで足を運び、構造材や内装材を見て選んで、その時気に入った材を大黒柱にしたり、人目に付く所の材料にします。

お客さんに家作りの楽しさを味わって貰う為に、ちょっとした左官仕事や小物作りを一緒にすることもあります。

事務局から会員の更新および新規会員募集のお知らせ

日頃よりネットワークの運営にご協力をいただき、まことにありがとうございます。今年度分の会員の更新がお済みでない方は早めの手続きをお願いします。また、新規に入会をご希望の方も是非よろしくお申し込み申し上げます。

NPO九州森林ネットワーク事務局（小国町森林組合） Tel0967-46-2411

★第8回森林フォーラム in 球磨のお知らせ★

九州森林ネットワークのオフィシャルWEB
<http://www.geocities.jp/shinrin9net/>

■開催日：平成19年10月12日（金）～13日（土）

■会場：熊本県球磨郡球磨村ほか

■テーマ：「川、そして海につながる森林づくり ～人工林施業を考える～」

森は川や海と繋がっています。昔からそのことは人々の生活知であり、江戸時代、漁業が盛んだった藩では「魚つき林」として森を守っていました。最近では、全国各地で「森は海の恋人」を合い言葉に、漁業者による植樹活動が活発になっています。では、川や海のために森林や林業生産はどうあるべきなのでしょう？

今秋の九州森林フォーラムでは流域の環境保全を考慮した森林づくりについて、共に学び、大いに議論したいと考えています。

九州は森林面積の約6割が木材生産を目的としたスギ、ヒノキの人工林です。その多くが伐採可能な時期になってきています。現在、中国やインドなどの経済成長に伴って世界的に木材需要が拡大しており、日本はこれまでのように外国からふんだんに木材を輸入できずなくなりつつあります。国産材の安定供給が加工側から要求され、それに川上が対応できさえすれば、林業のV字型復活と公益的機能の向上が実現できるといった「予定調和」に期待する声があります。しかし、一方で経済性のみを追求した無秩序な伐採の広がりが危惧されています。各地で山復崩壊や流木被害が起っています。

人工林をどのように伐採し、その後の更新をいかに行うのか、あるいは人工林と天然林の配置によっても流域環境は大きく左右されます。環境保全のために広葉樹を植えれば解決するという単純なものでもありません。地域の経済、環境、社会の持続に繋がるような森林の管理と林業経営を追求することが求められます。どのような住民参加がありうるのでしょうか？

球磨村は近年、大面積に皆伐が進み、その無秩序な伐採と再造林放棄が社会問題化し、メディアでも大きく報道されています。しかし、それらは主に不在村所有者の山で発生しており、地元の球磨村森林組合は間伐施業を中心に山を守る努力を続けてきました。その路網整備や間伐の技術は高く評価されています。

フォーラムでは、人工林の様々な施業現場を見学し、当日は「球磨川、大好き！」と球磨川の環境保全活動に取り組まれている方々も交えてワークショップ形式で議論を行います。基調講演では、長年、森林の生態と造林の研究に従事され、国連の持続可能な森林管理の基準・指標作成委員会日本代表をされた藤森隆郎氏に、流域環境に配慮した森林の管理と経営についてご講演頂けることになりました。多くの皆様の参加をお待ちしています。

■主催：NPO 法人九州森林ネットワーク

■共催：球磨川水系ネットワーク、八代木夢ネット（予定）

■後援：熊本県、球磨村、球磨村森林組合、球磨川流域市町村、球磨川水系関係団体、熊本県小国町、小国町森林組合、大分県（株）トライウッド、宮崎県諸塚村、耳川広域森林組合ほか

■参加費：フォーラム参加費 1,000 円（宿泊・交流会費 9,000 円）

■プログラム 12日（金）13時 現地見学会（球泉洞前駐車場集合）

18時 交流会（球磨村石の交流館「やまなみ」）

宿泊：一勝地温泉「かわせみ」

13日（土）総会・フォーラム（球磨村石の交流館「かわせみ」）

基調講演：藤森隆郎氏（社）森林技術協会

「流域環境に配慮した森林の管理と経営」

体験発表：球磨村森林組合、やまんたろかわんたろの会、八代木夢ネット

■お問い合わせ・お申し込み

NPO九州森林ネットワーク事務局（小国町森林組合内）

TEL0967-46-2411 FAX0967-46-5474

